

## 1 小単元名 わたしたちの暮らしと市の人々のしごと「店のしごと」

### 2 小単元について

#### (1) 学習指導要領との関連

本単元は、大単元「わたしたちの暮らしと市の人々のしごと」を構成する3つの小単元のうちの1つで、学習指導要領では第3学年及び第4学年の内容に示された

(2) 地域の人々の生産や販売について、次のことを見学したり調査したりして調べ、それらの仕事に携わっている人々の工夫を考えるようにする。

ア 地域には生産や販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていること。

イ 地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域などのかかわり

に基づいて設定されたものである。アの「それらは自分たちの生活を支えていること」については、地域の生産や販売に関する仕事と自分たちの生活とのかかわりについて取り上げ、自分たちの住んでいる身近な地域や市の人々の生産や販売に関する仕事は自分たちの生活を支えていることを調べていくとしている。イの「地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色」については、地域の人々の生産活動や販売の仕事に見られる工夫を取り上げ、それぞれの仕事の特色を具体的に調べていくとしている。

また、内容の取扱いにおいて、「販売」については、商店を取り上げ、販売者の側の工夫を消費者の側の工夫と関連付けて扱うようにすることを示している。よって本単元は、地域の中でも販売に携わる仕事である店に焦点を当て、地域には販売に関する仕事をしている人々がおり、自分たちの生活と関連付けて捉えさせることをねらいとしている。

#### (2) 教材について

本単元は、「身近な地域で販売の仕事をする人々がどんな工夫をしているのか」、「実際に観察・調査し、仕事に携わっている人々の工夫や努力」などについて具体的に考えたことを表現し、理解することをねらいとしている。つまり、店で働く人たちの商品を売るための工夫を理解させることがねらいである。児童は、普段保護者と一緒に様々な場所での買い物の経験をしており、身近な地域にスーパーマーケットやコンビニエンスストアなどがあることは知っている。しかし、そこで働く人々の工夫や努力については意外と知らないことが多い。

そこで、一番買い物経験が多い地元のスーパーマーケットを学習素材として取り上げ、どんな仕事をしている人がいるか、販売のためにどんな工夫や努力をしているかなどを実際に店の人の話を聞いたり、インタビューしたりして学習を進めていくことが重要である。このことを通じて、販売の仕事によって自分たちが購入したりサービスを受けたりできることや、販売の仕事に携わる人々の工夫と消費者の工夫との関連があることを明らかにできる。反面、社会経済や消費者のニーズの変化に伴って流通形態が多様化し、地域の小売業にも大きな変化が見られる。従来の地元の個人商店や商店街の利用者は減少し、車で行ける大型ショッピングセンターやコンビニエンスストアの利用者が大幅に増加している。そこで、本単元においては、利用度が増加している大型ショッピングセンターも取り上げることにした。地元のスーパーマーケットと比較し、地域の販売の特色をつかむだけでなく、一人一人の児童が自分の身の回りの消費生活に目を向け、消費者としての工夫を考えさせたり、店によって集客力や購買力を高めるために様々な工夫がされていることに気付かせたりするにはよい教材である。

また、販売者側の工夫は消費者側の工夫と関連付けて考えられていることや、品物の流通から国内の他地域や諸外国とのつながりがあること、どんな人も便利に使えるように最近では福祉や環境への取組もなされていることなどにも気付かせていきたい。ショッピングセンターの食品売り場の学習を基に、各地の商店街やコンビニエンスストアでの販売の工夫や努力についても考え、身近な販売活動の様子を理解させていく。さらに店の工夫と自分たちの生活とのかかわりを考え、消費者としての工夫についても考えられるようにしたい。

### (3) 児童の実態

●実態調査〔3年生・男子18名 女子10名 計28名〕

①社会科の学習は好きですか。

好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば嫌い	嫌い
20	5	1	2
<b>【主な理由】</b> ・自分たちの町や千葉市のことがわかって楽しいから。 ・たんけんやコンピューターを使って調べることが楽しいから。		<b>【主な理由】</b> ・少し難しい学習だから。	

②見学や本、インターネットなどを使って、調べ学習をすることは好きですか。

好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば嫌い	嫌い
23	4	1	0
<b>【主な理由】</b> ・実際に行って見て、調べるのが好きだから。 ・いろいろなものを調べて、たくさん知ることができるから。 ・インターネットを使うことができ、楽しいから。		<b>【主な理由】</b> ・調べていると時間が足りなくなってしまうから。	

③社会科の学習で自分の意見を発表することは好きですか。

好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば嫌い	嫌い
11	10	3	4
<b>【主な理由】</b> ・自分の考えをみんなに知ってもらいたいから。 ・みんなが聞いてくれると、うれしいから。 ・発表すると気持ちがすっきりするから。		<b>【主な理由】</b> ・自分の考えがはっきりと言えないから。 ・発表する時に緊張してしまうから。 ・発表する勇気がないから。	

④あなたの家でよく買い物に行く場所はどこですか。(複数回答)

- ・カワグチ…14人      ・フルルガーデン (イトーヨーカドー) …10人      ・ヤックス…5人
- ・コンビニエンスストア…6人      ・ジョイフル本田…4人      ・トライアル…3人
- ・コストコ…3人
- (その他、少数意見)
- ・セイムス      ・ビッグA      ・ダイエー      ・業務スーパー      ・イズミヤ      ・イオン

・タイヨー ・マルエイ ・てらお ・ヨークマート ・マルエツ

⑤ どうしてそのお店に買い物に行くのだと思いますか。(複数回答)

- ・家から近くて便利だから…11人
- ・ほしい品物があるから…10人
- ・安いから…6人
- ・おいしい物が売っているから…3人
- ・いい品物がたくさんあるから…3人
- ・ポイントカードのポイントがたまるから…3人
- ・店が大きいから…3人
- ・店がきれいだから…1人
- ・駅の近くで便利だから…1人

⑥ お店の人はどんな気持ちではたらいっていると思いますか。(複数回答)

- ・売り上げをあげたい…7人
- ・みんなにいっぱい買ってほしい…4人
- ・お客さんに喜んでほしい…4人
- ・お客さんの役に立ちたい…4人
- ・楽しい気持ち…3人
- ・いい物を食べてほしい…1人
- ・品物を何でもそろえたい…1人

本学級は特別な支援を要する児童が多く、学習活動に取り組むために個に応じた手立てや配慮が必要である。配置されている少人数指導教員の援助を得ながら、学習への意欲向上や学力を高めるための支援はもちろんのこと、生活面での支援も日々行っている。このような実態から、社会科の学習へ興味・関心を高めるためには、児童に疑問や驚き、感動などの気持ちをもたせるような場の設定や適切な資料・教具をそろえる必要があると考える。また、3年生の社会科は地域学習中心に、調べたり体験したりしたことから、わかったことや気付いたことをまとめることが中心となる。社会科学習の入門期である3年生は自ら課題を見つけ、追究し、解決する力は十分でない。このことから、問題解決的な学習を積極的に取り入れた授業づくりが必要であると考え。そして児童が調べ学習を行い、その社会的事象から人々の努力や工夫を見出し、自分の身近な生活と関連付けていくことが必要となる。本単元においては、社会的事象の相違点や共通点(類似点)をわかりやすく見つけるためには、比較や分類が児童自身でできるように効果的な支援をする必要があると考え、2つの店の見学を行い、児童に驚きや感動を与えたい。

実態調査のアンケートの結果から、本学級の9割近くの児童が、社会科の学習や調べ学習に対しては「好き・どちらかといえば好き」と答えており、3年生から始まった社会科の学習に興味・関心をもって意欲的に取り組んでいる。これまでの学習で学校の屋上から実際に調べたり、グループごとに学区探検をしながら、学校の周りを自分の目で見たりして、様々な発見があったことが大きな要因になっていると考える。また、パソコンでわからないことを調べることができたことも児童の心を動かしたことがわかる。自分で調べたり、体験したりする学習が児童にとって、楽しい学習となっているようである。自分の意見や調べたことを発表するという学習に対しても、積極的な児童が多い。児童が社会科の学習でやってみたいことを踏まえ、児童の学習意欲をさらにかき立て、社会科学習に対して前向きな姿勢を持続させたい。

児童は、主に地元のスーパーマーケットやコンビニエンスストア、自家用車で出かけていく郊外の大型ショッピングセンターを利用している。家族と一緒に買い物に行った経験はあるが、どうしてそのお店に買い物に行くのだと思うかということについては、店の近さや値段にこだわるばかりで、食材の産地や品質などに目を向けて商品を購入していると思っている児童は少ない。品揃えのよさやサービスポイントが付くなどといった店を利用する消費者側のニーズについて把握している児童もわずかであった。また、店の人が具体的にどんな努力をしているのか、お客さんに多く利用してもらうためにどのような工夫をしているのかということまで気が付いている児童は少ない。そのため、調べる視点に気付かせ、実際に店へ見学に行くことで多くのお客さんに来てもらうために、店が様々な工夫や努力をしているということに気付かせたい。

#### (4) 小単元で育てたい力（人や社会にかかわる力）

指導にあたっては、児童の各家庭の買い物調べを行い、自分の家の買い物の様子（だれが・どの店で・いつ・何を買ったか・店を選んだ理由など）を知り、それを「買い物地図」や「買い物グラフ」などに表していくことで店に興味・関心をもたせ、個々の家庭で買い物の仕方や店の選び方に違いがあることや、消費者としての工夫や選択について考えさせたい。また、実際にスーパーマーケットを見学したり、店長やお客から聞き取り調査を行ったりする体験的な活動をしながら学習を進めていくことで、児童の観察・調査能力を育てたい。

また、2つのスーパーマーケットを見学し、同じところと違うところを考えさせ、様々な消費者の願いに対応して工夫をしていること、それが私たちの生活を支えていることを考えさせたい。そして、販売者側に立った工夫だけではなく、消費者の側からも地域の消費活動を考えられるようにしたい。

### 3 小単元の目標

- 身近な地域には販売に関する仕事があり、自分たちの生活を支えていることや、それらの仕事の特色、他地域とのかかわりなどがわかり、携わっている人々の工夫を理解する。
- 身近な販売活動について、見学したり調査したりして調べ、販売に携わっている人々の工夫を具体的に考え表現することができる。

### 4 知識の構造図 別紙参照

### 5 単元の指導計画（15時間扱い）

回数	過程	時数	児童の主な学習活動	教師の指導上の留意点（○）・評価（◇）
第一次	つかむ	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○買い物をした経験について話し合い、買い物調べの仕方を理解する。</li> <li>○自分の家の1週間の買い物調べをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○買い物する理由を一層明確にするために、事前に家族にインタビューするように伝える。</li> <li>◇販売の仕事に関心を持ち、進んで買い物調べをしようとしている。</li> </ul> <p style="text-align: right;">（関・意・態）</p>
		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○買い物調べをグラフや絵地図にまとめ、自分の家の買い物について気付いたことや考えたことを話し合う。</li> <li>○学習課題に対する予想や解決策を話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スーパーマーケットのよいところを発表させながら、その意味を問いかけて予想させることを通して、学習問題づくりにつなげる。</li> <li>◇グラフや絵地図から、結果を読み取っている。 <span style="float: right;">（技）</span></li> <li>◇スーパーマーケットがよく利用されている理由を、買い物調べの結果から予想し、学習課題を考えている。</li> </ul> <p style="text-align: right;">（思・判・表）</p>

なぜカワグチには、たくさんのお客さんが来ているのだろう。

第一次	調べる	3	<p>○教科書のスーパーマーケットの挿絵を見て、気付いたことを話し合い、観察の視点を養う。</p> <p>&lt;観察の視点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・買いたいものを見つけやすさ</li> <li>・買物のしやすさ</li> <li>・値段</li> <li>・働く人の様子 など</li> </ul>	<p>○様々な人が、様々な理由でスーパーマーケットに来ているということを考えさせる。</p> <p>◇スーパーマーケットの挿絵を見て、販売の仕事の様子を観察している。</p> <p>(技)</p>
	調べる	第二次	4	<p>○地元のスーパーマーケット（カワグチ）の見学計画を立てる。</p>
5 6			<p>○見学計画をもとにスーパーマーケット（カワグチ）を見学し、売り場の様子や品物の産地について、メモをとりながら調べる。</p> <p>○スーパーマーケット（カワグチ）で働く人にインタビューをし、働く人の工夫について調べる。</p> <p>○お客さんにスーパーマーケットを選んで買い物をしている理由をインタビューして聞く。</p>	<p>○売り場の工夫や店長さんの話を聞き、働く人々の工夫を明らかにする。</p> <p>○看板・シール・広告などを活用して、品物の産地を明らかにする。</p> <p>◇見学計画に基づいて見学し、工夫について発見したことや新たな疑問点をメモしている。(技)</p>
7			<p>○スーパーマーケット（カワグチ）で見学して発見したこと、わかったことなどを項目ごとにまとめ、整理をする。</p>	<p>○見学してわかったことを付箋に書き出し、分類できるようにする。</p> <p>◇見学を通してわかった売り場や働く人の工夫を適切にまとめている。(技)</p>
8 (本時)			<p>○見学して分かったことを発表し合い、スーパーマーケット（カワグチ）の工夫とお客さんの思いや願いとの関連について話し合う。</p>	<p>○売る人の工夫と買う人の願いとの関連を明らかにしながら板書にまとめる。</p> <p>◇スーパーマーケットの見学を通して気付いた働く人々の具体的な工夫や努力と、お客さんの願いを関係付けながら表現することができる。(思・判・表)</p>
	まとめる		<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>カワグチでは、たくさんのお客さんに来てもらうために、さまざまなくふうや努力をしている。</p> </div>	

第二次	つかむ	9	○他の店との共通点や相違点を予想し、大型ショッピングセンター（フルルガーデン）の見学計画を立てる。	○消費と販売との関係に注目させ、予想や見学の視点、質問内容などを考えさせる。 ◇ショッピングセンターで買い物をする人が多い理由について積極的に調べようとするができる。（思・判・表） ◇見学して調べる内容や調べる方法について理解することができる。（知・理）
		他のお店では、たくさんの人に来てもらうために、どんなくふうや努力をしているのだろうか。		
	調べる	10 11	○見学計画をもとに大型ショッピングセンター（フルルガーデン）を見学し、売り場の様子や品物の産地について、メモをとりながら調べる。 ○大型ショッピングセンター（フルルガーデン）で働く人にインタビューをし、働く人の工夫について調べる。 ○お客さんに大型ショッピングセンター（フルルガーデン）を選んで買い物をしている理由をインタビューして聞く。	○売り場の工夫や店長さんの話を聞き、働く人々の工夫を明らかにする。 ◇見学計画に基づいて見学し、工夫について発見したことや新たな疑問点をメモしている。（技）
		12	○大型ショッピングセンター（フルルガーデン）で見学して発見したこと、わかったことなどを項目ごとにまとめ、整理をする。	○見学してわかったことを付箋に書き出し、分類できるようにする。 ◇見学を通してわかった売り場や働く人の工夫を適切にまとめている。（技）
		13	○見学してわかったことを発表し合い、2つの店（カワグチとフルルガーデン）の工夫や努力の共通点や相違点を確認する。	○売る人の工夫と買う人の願いとの関連を明らかにしながら板書にまとめる。 ◇店で働く人々の様々な工夫や努力をしていることに気付き、前回のスーパーマーケットとの共通点や相違点を挙げて、それぞれの工夫を行う理由を説明することができる。（技） ◇店の見学を通して気付いた働く人々の具体的な工夫や努力を表現することができる。（思・判・表）
14	○店は品物を売ること以外にどのような取り組みをしているかを調べ、特色を明らかにする。 ＜環境を守るために＞ ・リサイクルコーナー…牛乳パック、食品トレー	○教科書の資料や見学に行った際の写真などを提示し、取組の特色を明らかにする。 ◇様々な取組の様子を調べている（技） ◇店では、地域や地域に住む人々のために様々なことに取り組んでいることを理解している。（知・理）		

		<だれもが利用しやすいように> ・車いすの貸し出し ・お年よりや障がいのある人専用の駐車場 ・補助犬…盲導犬・介助犬・聴導犬 ・フリーマーケット	
	<b>ま と め る</b>	<b>15</b> ○単元のまとめをする。	◇店で行われている工夫や努力、お客さんの願いと店の工夫とのつながりを理解している。 (知・理)
		お店は、たくさんのお客さんに来てもらうために、それぞれのお店によってさまざまなくふうや努力をしている。	

## 6 観点別評価規準

評価の観点	評価規準
社会的事象への関心・意欲・態度	○地域の人々の販売に携わる人々の仕事に関心をもち、意欲的に調べようとしている。 ○地域の人々の販売の仕事と自分たちの生活とのかかわりを考えようとしている。
社会的な思考・判断・表現	○販売に携わる人々は、消費者のニーズや願いに合わせて販売の仕方を工夫していることを考え、自分たちの生活と関連付けて考え、適切に表現している。
観察・資料活用の技能	○調べたり、見学したりしたことやインタビューなどの体験活動を通して働く人やお客さんの様子を具体的に観察、調査し、観点に基づいて見学メモやカードにわかりやすくまとめている。
社会的事象についての知識・理解	○販売に関する仕事には、それぞれの特色があり、携わる人々は販売の努力や工夫を続けていて、自分たちの生活を支えていることを理解している。 ○販売に関する仕事の特色や様々な面で他地域とかかわりがあることを理解している。

## 7 主題との関連

### (1) **視点2** 追究意欲を高め、社会認識が深まり、参画への意識が育つ教材の開発

#### ○多面的な見方、考え方ができる教材の開発

社会科の学習を進めるにあたって、思考力・判断力・表現力の育成は大変重要である。思考力・判断力・表現力の育成のための学習活動は、社会的事象を多面的に考えたり表現したりすることができること、さらには社会的事象をあらゆる側面や視点から見ることができることが基になっていると考える。これは、よりよい社会の形成に参画する資質や能力の基礎が培われることにつながってくる。

本単元では2つの店を扱う。1つの店の販売の工夫や努力という社会的事象だけよりも、2つの店の販売の工夫や努力という社会的事象を比較することができるようにしていれば、相違点や共通点が見え、なぜだろうと考える力が育っていくものとする。そして相違点や共通点を整理することにより、自発的かつ意欲的に課題を追究する意欲を高め、わかりやすく、見通しがつきやすい学習になるものとする。

(2) **視点3** 主体的に学び、参画への意識が高まる学習過程の工夫

○単元計画、単元構成の工夫

本単元は実際にスーパーマーケットを見学したり、店長やお客から聞き取り調査を行ったりする体験的な活動をして学習を進めていく。自分の疑問や課題について解決するための観察・調査をした後には、スーパーマーケットの販売の工夫や努力についてはある程度は理解できるであろう。自分自身で課題や疑問をもち、意欲的に店の工夫を調べられるような環境を作っていくことが大切であると考え。さらに「つかむ」「調べる」「まとめる」という問題解決的な学習の過程を理解し、学び方のサイクルが継続できるようにしたい。調べ方や表現の仕方なども丁寧に指導しながら、児童が自発的かつ意欲的に学びたいと思うような素材を提示し、問題意識をもたせるようにしていきたい。

8 本時の指導 (8 / 15)

(1) 本時の目標

○スーパーマーケットの見学を通して気付いた働く人々の具体的な工夫や努力と、お客さんの願いを関係付けながら表現することができる。 **【社会的な思考・判断・表現】**

(2) 本時の展開

時配	学習活動と内容	○教師の支援 ◇評価の観点	資料
5	<p>1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの人がさまざまな仕事をしている。</li> <li>・お客さんが買い物しやすいように、いろいろな工夫をしていた。</li> <li>・お客さんがお気に入りのサービスがあった。</li> </ul>	<p>○前時までの学習の足跡を掲示しておく。</p> <p>○店の様子がわかるように写真など提示しておく。</p>	<p>見学のことをまとめた掲示物</p> <p>店の写真</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     なぜカワグチには、たくさんのお客さんが来ているのだろうか。                 </div>			
15	<p>2 売る人の工夫について調べたことを確認する。</p> <p>①見学してきたことから考えて発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見やすい表示の工夫</li> <li>・産地や旬のものを考えた陳列</li> <li>・少しでも安くする工夫</li> <li>・新鮮さを大切する工夫</li> <li>・ポイントサービス など</li> </ul> <p>②なぜ、このような工夫や努力をするのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お客さんに喜んでもらいたい。</li> <li>・たくさん買い物をしてほしい。</li> </ul>	<p>○見学してきたことや取材してきたことを基にして、感想などを交えながら自分の言葉で発表させる。</p> <p>○児童が調べてきたことをもとに、分類ができるように短冊カードにまとめておく。</p>	<p>見学時のワークシート</p> <p>短冊カード</p>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信用してもらい、売上をあげたい。 など</li> </ul>		
10	<p>3 買う人の思いや願いについて振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欲しい品物を見つけやすくしてほしい。</li> <li>・産地が知りたい。</li> <li>・品質の良いものを買いたい。</li> <li>・車で来たい。</li> <li>・さまざまなサービスがあると嬉しい。</li> </ul>	<p>○家で調べたワークシートを振り返らせ、家の人の思いや願いを確認する。</p> <p>○グループでそれぞれの家の人の思いや願いを伝え合い、考えさせる。</p>	買い物調べのワークシート
15	<p>4 買う人の思いや願いと売る人の工夫のつながりについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすく表示しているのは、「品物を見つけやすくしてほしい」という願いにつながっている。</li> <li>・特売日やチラシがあるのは「安く買いたい」という願いにつながっている。</li> <li>・お客さんのことを考えて、いろいろな努力や工夫をしている。</li> </ul> <p>5 本時（第1次）のまとめをする。</p>	<p>○思いや願いを短冊カードにまとめておき、売る人の工夫とのつながりを視覚的にとらえやすいようにしておく。</p> <p>◇スーパーマーケットの見学を通して気付いた働く人々の具体的な工夫や努力と、お客さんの願いを関係付けながら表現することができる。 (思・判・表)</p>	短冊カード
<p>カワグチでは、たくさんのお客さんに来てもらうために、さまざまなくふうや努力をしている。</p>		<p>○他の店についても同じなのかを考えさせ、調べたいという意欲をもたせる。</p>	
	<p>6 次時の学習につなげる問いかけをする。</p>		

4 知識の構造図

中心概念

お店は、たくさんのお客さんに来てもらうために、それぞれのお店によってさまざまな工夫や努力をしている。⑮

まとめる

具体的知識



つかむ

調べる

つかむ

調べる